

授業科目 ジェンダーと人権

【担当教員名】 塚 本 康 子		対象学年	2	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修・選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：G10】 人をジェンダーの視点で理解し、ジェンダーに関わる人権について考える。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. ジェンダー、セクシュアリティ、フェミニズム、人権などの概念と、それらの歴史的背景を述べることができる。 2. 家族関係におけるジェンダーと人権の問題について説明できる。 3. 教育・学校生活におけるジェンダーと人権の問題について説明できる。 4. 労働におけるジェンダーと人権の問題について説明できる。 5. 結婚生活におけるジェンダーと人権の問題について説明できる。 6. 保健・医療・福祉におけるジェンダーと人権の問題について説明できる。 7. ジェンダーに関する制度や社会保障について考察する。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ジェンダー、人権、セクシュアリティ、フェミニズム、女性学・男性学の概念			1.2	講義
2	家族関係におけるジェンダーと人権の問題			3	講義、演習
3	教育・学校生活におけるジェンダーと人権の問題			4	講義、演習
4	労働におけるジェンダーと人権の問題			5	講義、演習
5	結婚生活におけるジェンダーと人権の問題			5	講義、演習
6	保健、医療、福祉にみられるジェンダーと人権の問題			6	講義、演習
7	ジェンダー論と歴史的背景			6	講義
8	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		なし。その都度プリントを配布する。			
参考書		女性学・男性学—ジェンダー論入門	伊藤公雄 他	有斐閣	
		ジェンダーの法律学	金城清子	有斐閣	
		初めて学ぶジェンダー論	伊田広行	大月書店	
		ジェンダー・セクシュアリティ・制度	小松満貴子	ミネルヴァ書房	
その他の資料					
【評価方法】 出席10点 レポート90点			【履修上の留意点】 文献を読み、考え、自らの考えをまとめていこう。 新聞や記事を読む習慣を身につけよう。		